

第5学年2組 国語科学習指導案

令和3年12月3日 第5校時

場所 5年 2組教室

児童数 男子22名 女子16名

1. 単元名 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう

教材名「固有種が教えてくれること／統計資料の読み方・グラフや表を用いて書こう」

2. 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童について

本学級の児童は、様々なことに興味を持ち、意欲的に授業に参加できる児童が多い。また、男女共に仲が良く、日頃から授業においても積極的に意見を交換する姿が見られる。

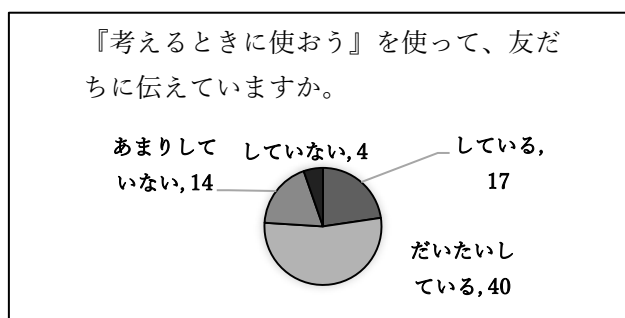
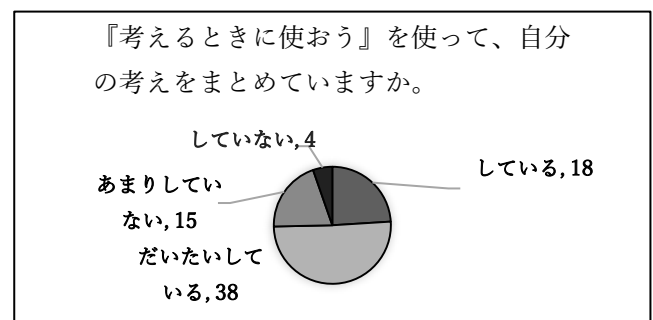
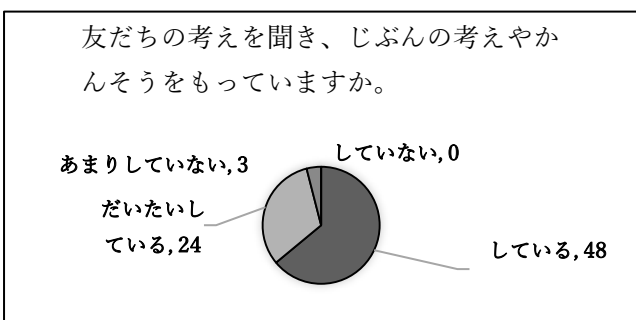
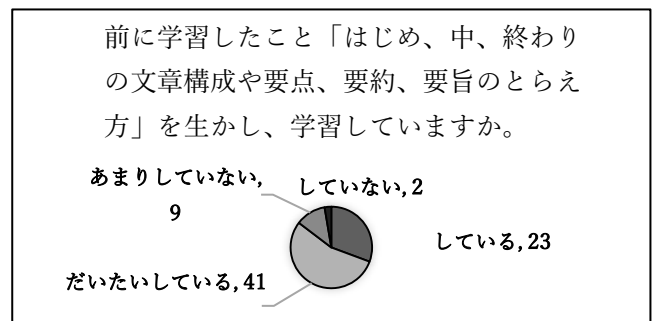
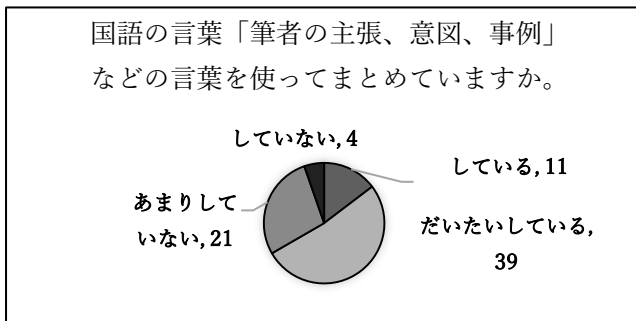
これまでには、「きいてきいてきいてみよう」「みんなが過ごしやすい町へ」等の学習で、自分の考えを伝え合う話し合い活動を経験してきた。自分の考えを持ち、伝えることはできたが、各々が友達の意見から自分の考えを広げるまでには至らなかった。

また、自分の考えに自信が持てず、一部の児童の発言で授業が進んでいくことも多いのが現状である。

説明文の学習では、1学期に「見立てる/言葉の意味がわかること」を通して、事例・理由や論の展開に着目し、要旨を捉える学習をした。ワークシートを用いて文章の構成を確認し、そこから事実と筆者の主張を捉えて、要旨をまとめることができるようになってきている。一方で、自分の力で最後まで書き上げることができない児童もいた。

埼玉県学力・学習状況調査の結果では、「情報の扱い方」、「話すこと・聞くこと・書くこと」の項目の正答率が低く、課題が見られた。

アンケートの結果は以下のとおりである。(学年)



(2) 単元について

本教材は、「読むこと」の説明的な文章教材「固有種が教えてくれること」と、「書くこと」の教材「グラフや表を用いて書こう」で構成される複合単元である。指導の重点は、図表やグラフの扱い方にあり、特に気を付けたいグラフなどの読み取りについては、情報「統計資料の読み方」で取り上げる。

「固有種が教えてくれること」は、「序論」「結論」に筆者の考えが書かれた双括型の文章である。形式段落ごとの主語が分かりやすく書かれているため、その段落が何について書かれているかとらえやすい。段落ごとの文は、具体と抽象を行き来するため、形式段落ごとの要点を適切に捉え書かれている情報を整理しながら情報と情報の関係を理解できるようになっている。

また、地図や表、写真、グラフといった多様な資料を提示しながら筆者が主張を展開していく構成が特徴的な文章である。固有種が日本の豊かで多様な自然環境の素晴らしさを伝えてくれる存在であることを、さまざまな文章上の工夫を通して伝えようとしているため、日常生活では用いることのないような語句も多く出てくる。そのため、言葉の意味を調べながら文章を読み進める必要がある。

「グラフや表を用いて書こう」は、グラフや表を用いて自分の考えを裏付けながら、考えを述べる文章を書く学習である。第一教材で学習した資料を用いて自分の考えに説得力を持たせる文章の書き方をいかし、自分の力で文章を書かせることに取り組ませたい。本教材では、社会生活に関わる4つの資料が提示されており、社会に対する見方や考え方を広げることができたり、友達の考えを知ることによってさらに理解を深めたりすることもできる。

また、資料を適切に読み取ることが自分の考えを裏付ける上で重要な意味を持つため、「情報-統計資料の読み方」も合わせて指導できる。

(3) 指導について

本単元のゴールは、図や表を用いて自分の考えを伝える文章を書くことである。巻末教材を提示し、具体的イメージを持たせながら単元のゴールを明確に示し、見通しを持って学習を進められるよう指導していく。

「固有種が教えてくれること」では、まず、1学期の説明文で学習したことを想起させながら「初め」「中」「終わり」の文章構成になっていることを捉えさせ、筆者の考えの中心を理解できるようにしたい。

次に、筆者の考えに説得力を持たせるために散りばめられた資料を一つずつ理解させる必要があると考えた。そこで、資料からどんな情報が読み取れるかを考えさせる活動を取り入れ、資料があることによって説明の内容がより分かりやすく、説得力のあるものとなっていることを押さえたい。また、文章と資料の内容を照らし合わせる場面では、資料の効果をより深く考えるため、「資料の効果ランキング」を考える活動を取り入れる。必要感のある資料を選び、グループでの対話を通して自分の意見をより明確なものにしたり、他のグループの意見から自分の考えを見つめ直したりすることを通して、資料の効果を実感させたい。

第3次「グラフや表を用いて書こう」では、今までに読み取った「資料を用いた説明の工夫」を活用して、統計資料を用いた意見文を書くことができるよう指導する。完成するまでに友達と読み合い、互いにアドバイスをし合いながら、より説得力のある文章を書くことができるようにする。選んだ資料の提示の仕方と説明の文章が適切に結びついているかを他者の目を通じて検証する活動を繰り返すことで、主体的に学びに向かう児童の育成を目指す。

3. 研究主題との関わり

(1) 研究主題

主体的に学びに向かう台小っ子の育成
～知識の理解の質を高め、①確かな学力を育てる
「伝え合い、学び合う」②授業づくり～③

(2) 本単元で身につけさせたい基礎・基本

【本単元で身に付けさせたい基礎・基本】

- 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。
- 粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、筆者の主張を理解することができる。

(3) 研究の仮説に対する具体的な手立て

〈仮説1〉 話や文章に含まれている情報と情報との様々な関係を適切に捉えて、思考力や判断力、表現力などを働かせていけば、児童の知識・理解の質を高めることができ、主体的に学びに向かう児童を育てることができるであろう。

【手立て】

①学習活動の工夫

本単元ではまず、既習事項を生かして文章構成を考え、全体の構成を確認する。本時では、資料の効果を確かめるためにランキング形式で自分が最も効果的だと思われる資料を選ぶ。その活動を通して次時の「グラフを用いて書こう」の学習に主体的に取り組むことができるようにする。

②振り返りシートの工夫

全時間を一枚で見渡すことのできるカードを使って、学習内容や学習活動を振り返るようにする。前時までの学習内容の理解や学習活動の内容を比較し、本時の振り返りにいかす。

③板書の工夫

本時では、文章の構成を押さえて論の進め方を確認するために、文章と資料を結びつけて視覚的に捉えやすいようにする。

〈仮説2〉 取り出した情報について、整理の仕方、比較・分類の仕方、メモや記録の仕方、引用などの仕方を知り、必要な語句やキーワードを適切に使って相手に伝えることができれば、授業を通しての児童の「伝え合い、学び合う」力が高まるであろう。

【手立て】

①対話的な学びの場

自分の資料に対する考えを広げ深めるために、まず自分の考えをしっかりとノートにまとめる時間を確保する。その後の交流で他者との考えの違いに触れるようにする。本時では、3人のグループを作り、一人一人が表現できる場面を設定する。

②全文・本文シートの活用

文章構成を捉えるために全文シートを掲示し、筆者の主張と論の進め方を理解できるようにする。

また、本時では、文章と図表を関係づけながら資料の効果を捉えられるよう、本文の「中」にあたる③～⑩段落の本文シートを活用し、ランキングを作成する。

③言語環境を豊かにする工夫

「考えるときに使おう」を掲示し、振り返りの時に活用したり、意見文を書く時に役立てたりする。

4. 単元の目標

- (1) 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
 〈知識及び技能(2)イ〉
- (2) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
 〈思考力・判断力・表現力等B(1)エ〉
- (3) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。
 〈思考力・判断力・表現力等C(1)ウ〉
- (4) 粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、筆者の主張を理解しようとする。
 〈学びに向かう力、人間性等〉

5. 単元で取り上げる言語事項

筆者の説明の工夫について考えをまとめて話し合ったり、学校図書館などを利用して調べた統計資料を根拠に、意見文を書いたりする。(関連：言語活動例ア)

6. 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
① 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。〈(2)イ〉	①「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〈B(1)エ〉 ②「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。〈C(1)ウ〉	①粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、読み取った筆者の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を書こうとしている。

7. 指導と評価の計画 (全11時間扱い) 本時 5/11

次	時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
第1次	① ②	①「グラフや表を用いて書こう」を参考にしながら、資料を用いた文章を読んだり書いたりする活動の見通しを持たせる。 ② 統計資料の読み方を理解し、文章を読むときにいかす。	○学習の見通し ○単元計画の組み方 ○統計資料の読み方	・グラフや表を用いた意見文を書くために、巻末資料を活用し、意見文における資料の取り入れ方について学習するとともに、単元計画を立てる。 ・資料から情報を読み取り、本文と照らし合わせることで統計資料を用いた意見文の書き方を知る。

第2次	③ ⑤	<p>③ 文章の構成を押さえ、論の進め方を確認し、文章の内容の大体を捉える。</p> <p>④ 要旨をまとめる。</p> <p>⑤ 文章と資料を結び付け、その効果を考える。 (本時)</p>	<p>○論の進め方</p> <p>○要旨のまとめ方</p> <p>○意見文における資料の効果</p>	<p>・さまざまな話題が扱われる文章なので、筆者の考えと結び付けながら、論の進め方を意識して読ませる。</p> <p>・筆者の考えの中でも最も伝えたいところはどこか考えさせる。</p> <p>・共感、納得したところ、疑問をもったところを手がかりにまとめていく。</p> <div data-bbox="979 528 1495 969" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知】 発言・記述 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p> <p>【態】 観察・記述 粘り強く、文書と図表などを結び付けて読んで、説明の工夫や筆者の考えを理解し、自分の考えをもとうとしている。</p> </div> <p>・資料重要度ランキングを作成し、主体的に資料の効果について考えさせる。</p> <div data-bbox="979 1104 1495 1288" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思】 発言・記述 文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている。</p> </div>
-----	--------	---	--	--

第3次	⑥ ⑩	<p>⑥ これからの社会について自分の考えを持ち、資料を探して、適切なグラフや表を選ぶ。</p> <p>⑦ 資料から分かる事実とそこから伝えたいことを書き出し、文章構成を考える。</p> <p>⑧⑨ 図表やグラフを用いて、考えが伝わるように書き表し方を工夫し、下書きをまとめる。</p> <p>⑩ 下書きを推敲し、文章を完成させる。</p>	<p>○統計資料からの情報の読み取り方（タイトル、縦軸、横軸、変化からわかること等）</p> <p>○資料から分かる事実、伝えたいことの書き方</p> <p>○文章の構成の仕方</p> <p>○資料と文章を結び付けた構成</p> <p>○考え方が伝わるよう書き表すための工夫の仕方</p> <p>○推敲の仕方</p> <p>○既習事項をいかした説得力のある意見文の作成の仕方</p>	<p>・調べる本や新聞、調べ方などは適宜助言する。</p> <p>・まとめたものをペアで読み合い、資料に合った「考え」かを検討させる。</p> <p>・考えを伝えるという目的を意識した上で、本文とグラフや表をどのように結び付けるかを考えさせる。</p> <p>・ここまで確認した書き表し方のポイントを参照し、文章を確認する観点を共有する。</p> <div data-bbox="986 817 1487 1196" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思】 作成した意見文の記述 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>【態】 観察 読み取った説明の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を進んで書くようとしている。</p> </div>
第4次	⑪	⑪ これまでに注意してきた観点を意識して読み合い、文章の良いところを見つける。	○単元の振り返り	<p>・グループを変え、色々な児童と交流できるようにする。</p> <div data-bbox="986 1299 1487 1576" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思】 観察 図表の使い方などの観点を、互いの文章のよいところを伝え合っている。</p> <p>【態】 記述・発言 単元全体の学習を振り返ろうとしている。</p> </div>

8 本時の学習指導（5/11 時）

(1) 目標

○文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えることができる。

(2) 評価規準

○文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている。

〈思考力・判断力・表現力等C（1）ウ〉

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 ・めあてをノートに書く。		<ul style="list-style-type: none"> 学習計画を掲示し、見通しをもって取り組ませる。 提言5 既習事項を掲示し、活用できるようにする。 【仮説1】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 資料から分かることをまとめ、その効果について考えよう。</div>	3
2 資料から分かる情報を読み取る。 (個人・グループ学習・全体)	○資料の効果 ・文章だけでは分からないことを補い、視覚的に理解できる。 ・具体的数値を示し、主張を裏付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 資料1、2、3・4のいずれか1枚を配布し、資料から分かることを書き込み、発表させる。 【仮説2】 本文シートに、資料から読み取った内容が本文中のどこにあたるかを書き込ませる。 資料から読み取れる情報を引き出した上で、本文と照らし合わせるようにすることで、資料の効果を実感させる。 提言4 	10
3 資料重要度ランキングをグループで話し合って決める。 (グループ・全体)	○グループにおけるランキングの決め方	<ul style="list-style-type: none"> 説得力のある説明にするために、本文中の資料を3つだけ用いるとしたらどの資料を選ぶか考えさせる。 それぞれの児童が資料に対する考えを議論することができるよう、グループで1つランキングを決める。 理由も合わせて考えるようにする。【仮説2】 	10
4 他のグループの意見を聞いた上で、個人でランキングをつくる。		<ul style="list-style-type: none"> グループや全体で話し合ったことも踏まえて、最終的な自分の資料重要度ランキングを決める。 	7
5 資料にはどんな効果があるか、自分の考えをまとめる。		<p>○文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている。【思考・判断・表現】〈発言・記述〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ 資料は、自分の主張をより分かりやすくするために用いる。</p> </div>	8

<p>6 本時の学習をふり返りまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習の確認。 ・ 振り返りを書く。 ・ 学習の自己評価 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだことが分かるよう、板書を工夫する。 【仮説1】 ・ 今日の学習内容、自分が考えたこと、友達の意見を聞いて深めた考えなどについて振り返りを書く。 提言6【仮説2】 ・ 次時への学習の意欲につなげる。 ・ 本時の学習を通して、児童ができるようになったことや力がついたことを教師が確認する。 	7
		<p>評価場面</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>〈評価方法〉ふりかえりシート</p> <p>◎文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている。</p>	

(4) 振り返りの例

【Aの児童の振り返りの例】

今日は資料の効果について学習しました。資料重要度ランキングをつくることを通して、資料は自分の主張をより分かりやすくするために用いると分かりました。

私は、資料2が重要だと考えましたが、「資料1が無いと日本とイギリスの似ている点分かりづらい」という友達の意見にも納得し、資料1も説明に重要な役割果たしていると考えました。

私が意見文を書くときにも、効果的に資料を活用して文章をつくりたいです。

【Bの児童の振り返りの例】

今日は資料の効果について学習しました。資料重要度ランキングをつくることを通して、資料は自分の主張をより分かりやすくするために用いると分かりました。

私も資料を上手く活用して文章を書きたいです。

【Cの児童の振り返りの例】

今日は資料の効果について考えました。資料重要度ランキングをつくって話し合いをしました。資料をたくさん使って分かりやすい文章になっていることが分かりました。

9. 板書計画

ふりかえり	まとめ	話し合い	自分の考え	めあて					
資料は、自分の主張をより分かりやすくするために用いる。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1. _____ 2. _____ 3. _____</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1. _____ 2. _____ 3. _____</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1. _____ 2. _____ 3. _____</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1. _____ 2. _____ 3. _____</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1. _____ 2. _____ 3. _____</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">1. _____ 2. _____ 3. _____</td> </tr> </table>	1. _____ 2. _____ 3. _____	1. _____ 2. _____ 3. _____	1. _____ 2. _____ 3. _____	1. _____ 2. _____ 3. _____	1. _____ 2. _____ 3. _____	1. _____ 2. _____ 3. _____	<p style="text-align: center;">○資料重要度ランキング</p> <p>資料4. 気温 資料5. 平均気温 資料6. 日本輸出額 資料7. 日本とイギリスの貿易額</p> <p>資料8. 全国にシモンソンズ・ドッグの飼育数 飼育頭数を推定する(推定)</p> <p>資料9. 犬飼育世帯数の推移 飼育頭数を推定する(推定)</p> <p>資料10. 飼育された犬の動物 シモンソンズ・ドッグ シモンソンズ・ドッグの子犬</p>	<p style="text-align: center;">資料から分かることをまとめ、その効果について考えよう。</p>
1. _____ 2. _____ 3. _____	1. _____ 2. _____ 3. _____								
1. _____ 2. _____ 3. _____	1. _____ 2. _____ 3. _____								
1. _____ 2. _____ 3. _____	1. _____ 2. _____ 3. _____								